

平成27年7月30日  
九州地方整備局

## 海の中道海浜公園海洋生態科学館 改修・運営事業の 民間事業者の選定における客観的評価の結果について

PFI法に基づく事業として、平成27年7月15日に公表した「海の中道海洋生態科学館改修・運営事業」の民間事業者の選定における客観的評価の結果について公表します。

### 【担当・問い合わせ先】

- 国土交通省 九州地方整備局 建政部

公園調整官 やなぎさわ柳澤 しゅうすけ秋介（内線 6170）

建設専門官 さえき佐伯 やすお康夫（内線 6115）

代表電話 092-471-6331

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号）第11条第1項の規定により、海の中道海浜公園海洋生態科学館改修・運営事業の民間事業者の選定における客観的評価の結果をここに公表する。

平成27年7月30日

九州地方整備局長 金尾 健司

海の中道海浜公園海洋生態科学館  
改修・運営事業

民間事業者選定結果

平成 27 年 7 月

## 1. 事業概要

### (1) 事業名称

海の中道海浜公園海洋生態科学館改修・運営事業

### (2) 事業の対象となる公共施設等の名称及び種類

#### ① 名称

海の中道海浜公園海洋生態科学館

#### ② 種類

都市公園法に基づく公園施設（教養施設）

### (3) 公共施設等の管理者

九州地方整備局長 金尾 健司

### (4) 事業内容

海の中道海浜公園海洋生態科学館改修・運営事業（以下、「本事業」という。）の遂行のみを目的とする特別目的会社（以下、「SPC」（Special Purpose Company）を設立し、RO(Rehabilitate-Operate)方式により、海の中道海浜公園海洋生態科学館（以下、「本施設」という。）の改修、維持管理及び運営を行う。また、SPCは改修工事業務を行う予定の者を選定し、発注する。

### (5) 事業期間

事業契約の締結日から平成 48 年 3 月 31 日までの期間とする。

## 2. 経緯

民間事業者選定までの主な経緯は以下のとおりである。

実施方針等の公表	平成 25 年 6 月 17 日
特定事業の選定	平成 25 年 8 月 22 日
募集要項等の公表	平成 26 年 12 月 11 日
第一次審査資料の提出期限	平成 27 年 1 月 19 日
第一次審査結果の通知	平成 27 年 2 月 3 日
第二次審査資料の提出期限	平成 27 年 3 月 30 日
選定事業候補者への特定通知	平成 27 年 7 月 15 日

### 3. 民間事業者選定方法

#### (1) 選定方法の概要

民間事業者には、PFI 並びに施設の設計、維持管理及び運営について専門的な知識やノウハウが求められる。そのため、民間事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、提案を総合的に評価した。

民間事業者選定は、参加資格確認を行う「第一次審査」を経て、参加資格があると認められた者から提案書類を受け付け、「第二次審査」として具体的な事業計画等の内容を審査した。

#### (2) 選定体制

九州地方整備局は、民間事業者を選定するにあたり、客観的な評価を行うために、「海の中道海浜公園海洋生態科学館改修・運営事業 有識者委員会」（以下、「有識者委員会」という。）を設置した。

有識者委員会は、事業提案の採点結果をとりまとめ、審査結果案を作成し、九州地方整備局に報告した。九州地方整備局は事業提案審査により決定された得点を基に、選定事業候補者を決定した。

有識者委員会の構成及び開催経緯は以下のとおりである。

#### 有識者委員会 委員

◎包清 博之	九州大学大学院芸術工学研究院教授
亀崎 直樹	岡山理科大学生物地球学部教授 (前・神戸市立須磨海浜水族園園長)
香野 剛	公認会計士
敷地 健康	弁護士
田上 健一	九州大学大学院芸術工学研究院准教授

◎は委員長（五十音順、敬称略）

#### 有識者委員会 開催経緯

平成 24 年 3 月 18 日	第 1 回有識者委員会
平成 25 年 8 月 19 日	第 2 回有識者委員会
平成 25 年 10 月 16 日	第 3 回有識者委員会
平成 26 年 11 月 13 日～26 日	第 4 回有識者委員会
平成 27 年 5 月 15 日	第 5 回有識者委員会
平成 27 年 6 月 11 日	第 6 回有識者委員会

#### 4. 第一次審査

##### (1) 第一次審査の結果

平成 27 年 1 月 19 日までに 1 者から第一次審査資料の提出があり、当該応募者について参加資格を有するものとして確認し、平成 27 年 2 月 3 日にその結果を通知した。

参加資格を有するものとして確認された応募者は以下のとおりである。

応募者 0001

代表企業：株式会社海の中道海洋生態科学館

構成企業：西鉄ビルマネージメント株式会社

構成企業：株式会社九電工

協力企業：大成建設株式会社

協力企業：株式会社日建設計

#### 5. 第二次審査

##### (1) 第二次審査の概要

第二次審査の手順は以下のとおりである。

###### ① 要求水準審査

事業提案が関連する要求水準を全て満たしているかについて審査を行い、一部でも満たしていない場合は欠格とする。

###### ② 事業提案審査

優れた事業提案と認められるものについては、その程度に応じ、審査項目毎に得点を付与する。事業提案審査による配点は 100 点満点とし、各審査項目に配点が付されている。

###### 1) 有識者委員会における採点・審査結果案作成

有識者委員会において、各審査項目の内容について優れた提案がなされているかを審査し、「海の中道海浜公園海洋生態科学館改修・運営事業 事業者選定基準」に示す評価の視点に基づいて事業提案の採点を行う。

有識者委員会は、採点結果をとりまとめ、審査結果案を作成し、九州地方整備局に提出する。

###### 2) 九州地方整備局による審査結果の決定

九州地方整備局は、有識者委員会より報告された審査結果案を基に得点を決定する。

###### ③ 選定事業候補者の決定

九州地方整備局は、事業提案審査により決定された得点を基に、選定事業候補者を決定する。

##### (2) 要求水準審査

事業提案の内容が要求水準を充足しているかについて審査を行った結果、応募者 0001 を適格と判断した。

### (3) 事業提案審査

審査基準に基づき、有識者委員会において事業提案の審査を行った。

### (4) 得点及び特定事業候補者等の決定

有識者委員会の審査結果を受け、九州地方整備局は第二次審査の結果を以下のとおり決定した。

得点を踏まえ、九州地方整備局は、株式会社海の中道海浜公園海洋生態科学館を選定事業候補者に決定した。

提案内容等の評価点

審査項目		配点	応募者 0001 の得点
事業の実施方針 及び実施体制	事業実施方針	3	1.50
	実施体制・スタッフ教育	5	2.50
	リスクへの対応	3	1.50
	セルフモニタリング方策	2	1.50
	地域や環境への配慮	2	0.50
	小計	15	7.50
資金調達及び 収支計画	収入及び支出の見込み	10	5.00
	資金調達・償還計画	5	2.50
	出資者の構成・出資条件	5	2.50
	資金不足時の対応	5	2.50
	小計	25	12.50
施設・展示等計画	修繕・更新計画及び改修工事	10	7.50
	維持管理	3	1.50
	展示	10	7.50
	生物の飼育・管理	5	1.25
	ユニバーサルデザインへの配慮	2	1.00
	小計	30	18.75
企画・営業計画	利用促進・広報	8	4.00
	その他収益活動	2	0.50
	小計	10	4.50
教育・研究計画	教育プログラム	10	7.50
	研究活動	5	1.25
	博物館機能の発揮	5	2.50
	小計	20	11.25
合計		100	54.50

## 6. 審査講評

### (1) 総評

本事業は、国営海の中道海浜公園の公園施設である海の中道海洋生態科学館の修繕・更新及び、長期的な管理・運営を実施するものであり、事業実施に要する費用を利用者からの利用料金等で賄う独立採算型の事業である。

応募者 0001 の提案は、要求水準を全て満たし、以下の個別講評で示す優れた点が含まれた提案であり、本事業の目的を達成するものであった。

### (2) 個別講評

#### ① 事業実施方針及び実施体制

##### 1) 事業実施方針

- ・ 過去の運営実績もあり本事業の特徴への理解度が高いこと、海中リボンという提案には九州周辺の豊かな自然の展示に対して積極的に取り組む姿勢が見られ、テーマが絞り込まれていること等が優れている点と認められる。

##### 2) 実施体制・スタッフ教育

- ・ 運営実績を活かした実施体制の確保が期待できること、人員配置やスタッフのスキルアップの支援などスタッフ教育方針につき細やかな配慮がされていること等が優れている点と認められる。

##### 3) リスクへの対応

- ・ 代表企業親会社からの支援、充実した保険付保等により、リスク対策が網羅されていること、リスクマネジメント会議を毎月開催すること等が優れている点と認められる。

##### 4) セルフモニタリング

- ・ 要求水準を満たすための具体的なモニタリング手続や利用者ニーズの把握方法が示されており、優れた提案と認められる。

##### 5) 地域や環境への配慮

- ・ 餌、生鮮食品、物品に関する地元へ配慮した調達及び地元雇用が提案され、環境配慮についても具体的提案がされていることがわずかに優れている点と認められる。

#### ② 資金調達及び収支計画

##### 1) 収入及び支出の見込み

- ・ 過去の運営実績を踏まえた想定がされており、一定の信頼性が認められること、初年度に大規模改修工事を実施し、その後も小規模の改修工事を行い集客力の維持を図っていること、集客力の維持を念頭に置いた計画となっていること等が優れている点と認められる。

##### 2) 資金調達・償還計画

- ・ 代表企業の親会社への依存度が高いものの、親企業からのグループファイナンス及び構成企業からのファイナンスにより、円滑な資金調達が期待できること、予備的資金の確保に関して複数の方策が提案されていること等が優れている点と認められる。



### 3) 出資者の構成・出資条件

- ・ 配当留保を始めとした事業期間を踏まえた配当政策が提案されていること、一定基準の剰余金が確保された場合の再投資資金としての留保など、事業期間を踏まえて設定されていること等が優れている点と認められる。

### 4) 資金不足時の対応

- ・ 代表企業親会社のグループファイナンス制度への加入等という具体的な方策が提示されていること、その他に親会社による追加貸付、増資の合意が取れており、事業安定性に寄与すること等が優れている点と認められる。

## ③施設・展示等計画

### 1) 修繕・更新計画及び改修工事

- ・ 詳細な工程計画を含む具体的な修繕・更新計画が立てられており、優れた提案と認められる。

### 2) 維持管理

- ・ これまでに本施設で培ったノウハウの活用が期待できること、事故発生時等の対応について維持管理企業の指令センターが近傍に存在し、迅速なバックアップ体制が可能であること等が優れている点と認められる。

### 3) 展示

- ・ 全体として網羅的で、新規の展示、更新内容について現実性が高く、積極的であること。
  - ・ 展示生物の解説について、フィールドラボなど、参加型の新しい解説方法が複数提案されていること。
  - ・ 九州の多様な自然にこだわった展示計画となっていること。
- 以上から、優れた提案と認められる。

### 4) 生物の飼育・管理

- ・ 全体として網羅的な提案となっており、飼育管理方針につき具体的な提案がなされていることがわずかに優れている点と認められる。

### 5) ユニバーサルデザインへの配慮

- ・ コミュニケーショントレーニングの実施が提案されていること、スロープなど動線計画上の工夫がなされていること、外国人観光客の増加を見据えた具体的な提案がなされていること等が優れている点と認められる。

## ④企画・営業計画

### 1) 利用促進・広報

- ・ 一定の営業活動や広報戦略が具体的に提案されていること、複数の商圏の設定、マスコミとの情報交換等の提案がなされていること等が優れている点と認められる。

### 2) その他収益活動

- ・ これまでの実績のある活動を継続しつつ新たな提案も追加されていること、付帯サービス活動が多く提案されていることがわずかに優れている点と認められる。

## ⑤教育・研究計画

### 1) 教育プログラム

- ・ 多様な教育プログラムの提案があること、他機関との連携が具体的に示されていることから、優れた提案と認められる。

### 2) 研究活動

- ・ 展示及び教育手法の研究に関して新規の提案がされており、観客の視線を考えた提案であること、代表企業のネットワークを活用した他機関との連携が期待できることがわずかに優れている点と認められる。

### 3) 博物館機能の発揮

- ・ 資料整理、出版物、企画展示に関して、いずれも具体的な提案がなされていることが優れている点と認められる。